

製品安全データシート

本記載内容は当社が作成した現時点での入手できた情報・資料を基に作成しています。

含有量や物理的性質、化学的性質、危険性、有害性に関していかなる保証をするものではありません。
注意内容は、通常一般的な取扱いにおける事象をもとに、その対象として作成されたものであり、特殊な取扱いや特殊な用法・用途に用いる場合には、専門家に聞くなどして適切な管理・使用をしてください。

1. 化学物質等及び会社情報

製品名：スパドカーン

会社名：抗菌美装株式会社 長野県飯田市中村 1 7 5 8 番地 2

電 話：0 2 6 5 - 2 8 - 2 0 0 0

2. 物質の特性

成分及び含有量：ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム 含有量は 97%以上
有効塩素濃度 60%

3. 危険有害性の要約

分類の名称：酸化性物質（危険物第一類）・腐食性物質

危 険 性：熱や油、還元性物質その他の可燃物と接触させると分解し、火災や爆発を起こす恐れがある。

常温でも徐々に分解し塩素ガスを発生する。金属類、天然繊維類の殆どのものを腐食する。

次亜塩素酸ナトリウムや次亜塩素酸カルシウム等と混合すると有害かつ爆発性のガスを生じる。

有 害 性：眼への刺激があり、皮膚に接触すると荒れる。

口に入れると粘膜や組織を破壊し、障害をおこす恐れがある。

環境影響：水中で徐々に分解する。魚毒性がある。

4. 応急処置

眼に入った場合：直ちに多量の水道水で 15 分以上洗眼し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに多量の水道水で 15 分以上洗浄し、医師の診断を受ける。

吸入した場合：次亜塩素酸から発生した塩素ガスを吸い込んだ場合には次のように処理をする。

- 1) 咳がでる程度の時は、新鮮な空気の風通しの良いところで身体を楽にして休息させる。
- 2) 塩素ガスで眼を傷めたときは、ただちに水道水で目を開いたまま少なくとも 15 分間以上洗眼し、極力医師の診断を受ける。
- 3) 重症の場合は、ただちに医師を呼んでその指示に従う。

飲み込んだ場合：コップ 1～2 杯の水あるいは牛乳を飲むなどして、速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

不燃性であるが、火災時には刺激性もしくは有毒なヒュームやガスを放出する。

消火方法：1) 容器を安全な場所に移動する。

2) 移動不可能な場合は、容器に注水して冷却する。

6. 漏出時の措置

1) 漏れたときは、人体や衣服を損傷するので水洗いにより早急に除去する。また、容器や付属品は常時点検し、漏れのないように努める。

2) 設備に対する応急処置としては、多量にもれた場合は至急修理詰め替え、還元分解などの措置を講じるか、漏れのないように努める。

3) 河川へ直接流出することを防止する。

4) アルカリによる中和は有毒な塩素ガスを発生するので防護対策を講じて行なう必要がある。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：保護メガネや保護手袋その他保護具を着用し取扱うとともに、必要に応じて局所排気装置を使用する。

1) 移動運搬の際は、分解または漏れなどが起こらないようよく点検してから行なう。また、容器には関係者以外が触れないよう表示する。

2) 作業中に温度が上昇したり、pH が上昇したり、貴金属類の混入があると酸素または塩素を放出するので注意する必要がある。

3) 誤ってアルカリと混合したときには、直ちに適切な酸を用い中和する。

4) 発生した塩素ガスが周辺に拡散・移流する恐れがあるときは周囲に連絡すると共に、風上に避難、誘導などの措置を講ずる。

保管：1) 直射日光を避け、容器を密封し、湿気のない冷暗所に貯蔵する。

2) 火気や摩擦、衝撃を避ける。

3) 水、酸、アルカリ、他の酸化剤、還元剤、油脂類その他の可燃物と触れさせない。

8. 暴露防止措置

管理濃度：設定されていない。

取り扱い時には換気扇や局所排気装置を使用する。

9. 物理等化学特性

外観など：白色の顆粒で、塩素臭がある。

溶解度：水 100 g に対し約 25 g 溶解する。(25℃)

可燃性：あり

10. 危険性情報

引火点：なし 発火点：なし 爆発限界：なし

可燃性：あり 発火性：なし 酸化性：酸化剤 金属腐食性：あり

自己反応性・爆発性：なし 粉じん爆発性：あり

安定性・反応性：乾燥状態では安定している。空気、熱、光、金属などに不安定で放置すると徐々に分解する。水があると次亜塩素酸を発生する。

分解時の発生ガスは、塩化水素、塩素、酸化窒素、一酸化炭素および三塩化窒素等が含まれる。

1 1. 有害性情報

急性毒性：経口毒性 ラット LD 50 : 1600mg /kg 以上

皮膚刺激性：穏やかである。(ウサギ)

眼刺激性：強い刺激がある。(ウサギ)

1 2. 環境影響情報

分解性：水中で徐々に分解する。

魚毒性：水生生物に有毒である。LC 50 (ヒメダカ) で 2.8mg/リットル 48h

1 3. 廃棄上の注意

- 1) 容器は使用後よく点検し、容器の変形、内部ランニング、塗装の亀裂、はく離、残留物の有無を確かめ、漏れや変質を防ぐため水洗い、水切りをしておく。
- 2) 廃液及びマッドはそのまま廃棄すると土地、河川を汚染して農産物、魚介類に影響を及ぼすので、そのまま廃棄してはならない。
- 3) 水で希釈し、亜硫酸ソーダなどで有効塩素を分解する。
- 4) アルカリを使用して分解すると塩素ガスを発生し、大気汚染防止上好ましくないので、完全な塩素ガス吸収装置のついた密閉容器中で分解後、廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

- 1) 腐食性が強いので運搬容器及び装備（配管、弁、ポンプなど）は耐食性のあるものを使用する。
- 2) 分解しやすいので、遠距離輸送はなるべく避けたほうが良い。直射日光下の輸送は、温度上昇によって分解が促進されるので好ましくない。
- 3) アルカリと接触すると分解して塩素ガスを放出するので、小型容器詰めのものとは酸類との混合は避ける。
- 4) 専用容器を他の物質と共用してはいけない。

1 5. 適用法令

- | | |
|---------------------|----------|
| 1) 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 2) 消防法 危険物第一類 | 第三種酸化性固体 |
| 3) 労働安全衛生法 通知対象物 | 非該当 |
| 4) 化学物質管理促進法 | 非該当 |
| 5) 道路法 長大・海底トンネル等輸送 | 制限物質 |

1 6. 記載内容の問い合わせ先

抗菌美装株式会社 TEL 0265-28-2000 FAX 0265-28-2011

引用文献 Monsanto Cc Tpoixicty Information 1972

Bruce G Hammond Environmental Health Perspectives vol69 1986

Jerome Saldick Applied Microbiology Dec 1974

澤村良二 衛生化学 24 (1) 1978